



令和7年度 地域研修（福島県）の様子

令和8年度 「防災スペシャリスト養成」 地域研修（福島県）

「防災スペシャリスト養成研修・地域研修」：<https://bousai-sp.go.jp/>
内閣府が実施する都道府県・市町村職員等向けの防災人材育成プログラム

被災者生活再建支援（住家被害認定調査）

- ・住家被害認定調査、罹災証明書発行、生活再建支援相談窓口等からなる生活再建支援業務の全体像を学ぶ
- ・住家被害認定調査を事例に、応援受援時に必要となるマネジメント・調整業務について演習を通じて学ぶ

オンデマンド 講義

対面 演習

期間：令和8年 6月16日（火）
～令和8年 7月15日（水）



日時：令和8年 7月16日（木）10:30～17:00

※時間は多少前後する可能性があります。

場所：郡山合同庁舎（新庁舎）大会議室
〒963-0115 郡山市南1丁目94番

※ 受講には、インターネットに接続されたPCやタブレットが必要です。
受講者ご自身でご準備ください。

申込 令和8年 5月25日（月）
期限

※ 申込方法は別添の募集要項をご覧ください。

開催概要

約1ヶ月のオンデマンド講義期間中に講義動画を視聴し、約1日の対面演習を受講いただきます。
研修カリキュラムは次ページ参照。

受講者の声

- 非常にボリュームのある内容でしたが、コンパクトかつ実践的に学べる講座を提供いただき、ありがとうございました。通常業務の合間に、今後も自己研鑽を継続していきたい。
- 目の前の業務にばかり目が行きがちですが、災害経験がない我々職員に最も求められているものは、非常時における指揮監督力と対応力だと思います。今回のような過去に実際に起こった災害事例を通じて、知識・理解を深めていくことは非常に有意義であり、重要であると感じました。

- 現場の実情を知ることができ、よい経験になりました。
- 全般を通して、大変ななりました。自市においても、手付かずだった問題点が見えてきたので、行動に移したいと思っています。
- 災害対応について、自分がいかに知識（経験）不足であるか見直す機会になりました。
- 内容が濃く、防災担当1年目からしたら広い知識を得られる場になったと思います。
- 一昨年に豪雨災害を経験し、災害の怖さは知っていたつもりですが、事前に受援計画を作る必要性をしっかりと学べた。

地域研修とは

内閣府（防災）では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

その一環である地域研修は、災害対応能力の一層の向上、地域内の人的ネットワークの形成の促進等を目的に、都道府県と内閣府（防災）の共催で開催します。

地域研修カリキュラム

注) 対面：当日の状況で変更の可能性あり
オンデマンド：今後の収録状況によって変更の可能性あり

対面演習・当日参加

形式	地域研修における位置づけ	学習目標
あいさつ	はじめに	・ 本日の研修の意義を理解する
		・ 本日の研修の実施体制を説明する
		・ 本日の研修の流れを理解する
プレゼン	前提・背景を知る	・ 現在の生活再建支援業務の枠組みをおさらいする
・ 生活再建支援業務における応援受援の考えるべきポイントを知る		
班ワーク		・ 災害規模によって、庁内応援/県内応援/県外応援の範囲を想定する
プレゼン		・ 県が検討すべきこと、市町村に検討してほしいこと
昼休み		
プレゼン	住家被害認定調査に関する 業務マネジメント・応援受援を学ぶ	・ 午前をふりかえり、午後にむけてそなえる
班ワーク		・ 想定される課題、目標期限、等を検討する
班ワーク		・ 業務方針に応じて、業務の進捗イメージを予め想定する
休憩		
班ワーク	住家被害認定調査に関する 業務マネジメント・応援受援を学ぶ	・ 業務量、必要数を見積もる
班ワーク		・ 応援受援の調整、業務の進め方の計画を立てる
休憩		
班代表発表	演習をふりかえる	・ 各班から演習をふりかえる
県代表発表		・ 県班から演習をふりかえる
プレゼン	話題提供①過去災害	・ 過去の業務マネジメントの実際を知る
プレゼン	話題提供②未来災害	・ 未来災害の業務マネジメント・応援受援を考える
コメント	全体をふりかえる	・ 専門家から今日をふりかえる
あいさつ	おわりに	・ 本日参加の意義を伝える

開始..
10時半

終了..
17時

オンデマンド 講義・事前学習	必須/選択	地域研修における位置づけ	学習目標	必須 .. 210分 選択 .. 30分 程度
	必須	法的基礎知識を学ぶ	・ 災害救助法の概要について説明できる	
			・ 被災者生活再建支援法の概要について説明できる	
		応援受援体制を学ぶ	・ 受援体制整備の必要性について説明できる	
			・ 外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる	
			・ 受援計画の中で整備すべき項目について説明できる	
			・ 応急対策職員派遣制度の概要について説明できる	
		住家被害認定調査・罹災証明書発行等 生活再建支援業務を学ぶ	・ 総括支援チームの役割について説明できる	
			・ 応援職員の力を活かすために必要な体制について説明できる	
			・ 被害認定調査・罹災証明書の概要について説明できる	
			・ 生活再建支援業務の全体像を学ぶ	
			・ それぞれの業務に位置づけを知る	
		生活再建をとりまく業務を知る	・ 住家の被害認定調査業務を学ぶ	
			・ 避難所の設置主体や役割を説明できる	
			・ 発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる	
			・ 発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる	
			・ 災害廃棄物処理の概要について説明できる	
			・ 災害発生時の保健医療福祉対策の重要性を理解する。	
	選択	地域災害を学ぶ	・ 災害発生時には、保健医療福祉に係る様々な団体・支援チーム 等が現地支援にあたることを理解する。	
			・ 保健医療福祉調整本部の機能・役割を理解する。	
			・ 救援物資の調達・輸配送の概要を説明できる	
			・ 福島県に想定される地震災害を説明できる	
			・ 福島県の過去の地震災害について説明できる	
			・ 福島県における気象特性について説明できる	
			・ 福島県の災害を引き起こす可能性のある気象特性を説明できる	
			・ 福島県における河川特性について説明できる	
			・ 福島県における過去の水害について説明できる	

コーディネーター
【プロフィール】

大正大学
地域構想研究所 研究員
佐藤 和彦氏

東京都豊島区に入区し防災課長時代に東日本大震災を、区民部長時代に熊本地震、平成30年7月豪雨などで被災地支援を経験。2021年から現職。専門は地域防災。罹災証明書発行などにかかる業務の標準化、個別避難計画作成促進、被災地支援などに取り組んでいる。